

大学スポーツにおけるドーピング 防止活動の実態

龍谷大学 松畑ゼミA

はじめに

• 2018年6月1日に「会」で「ス
ポーツの防

スポーツ経験者なら
知っていて当たり前!!!

か

スポーツ

全員がドーピング
について何も知ら
なかった。

ラグビー

ボクシング

サッカー

選択理由

- ドーピングはプロ選手だけでなく学生にも被害を及ぼす可能性がある。
- ドーピング身近な問題であると自覚する。
- ドーピングの知識を身に付ける。



学生にもっと知ってもらいたい!!

研究目標

- 大学生にドーピングについて理解を広める。
- ドーピングを教育の一環に取り入れる。
- スポーツのフェアプレー精神を忘れることなく努力で勝ち進んでほしい。

ドーピング検査とは・・・

・日本国内で行われているドーピング検査は、JADA加盟団体に所属している団体、主催大会、もしくはWADAに加盟している国際競技連盟主催大会において実施せられている。2018年8月8日現在で87団体がJADAに加盟している。

・世界アンチ・ドーピング規程は、「署名当事者」という世界アンチ・ドーピング規程に署名し、当刻規程を遵守することに同意した団体に適応される。

また、JADAもしくはWADA加盟していないスポーツ団体においては、世界アンチ・ドーピング規程ではなく、独自のアンチ・ドーピング・プログラムを運用している場合もある。



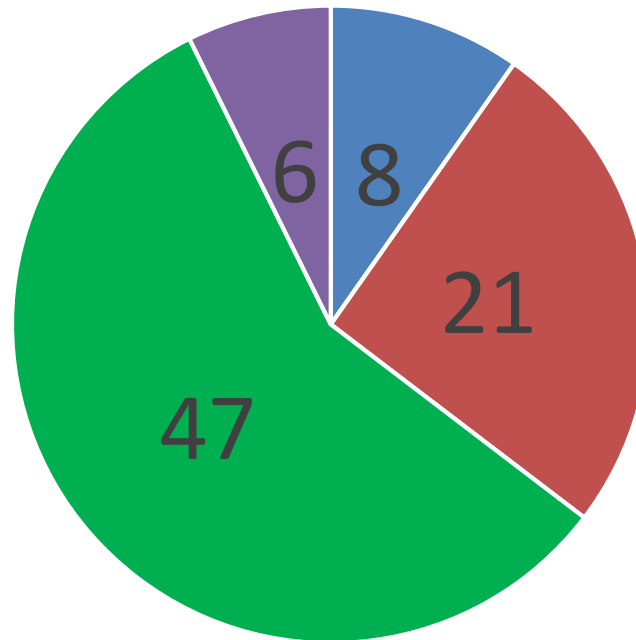
・上記に記載されていることが、スポーツや試合によってドーピング検査が行われていない訳である。また、学生のドーピング知識がまばらである事の原因であると考えられる。

ドーピング検査費用

- 日本で唯一認定された、ドーピング検査における検体分析機関（WADA Accredited Laboratory）
- 費用については公開されていない。

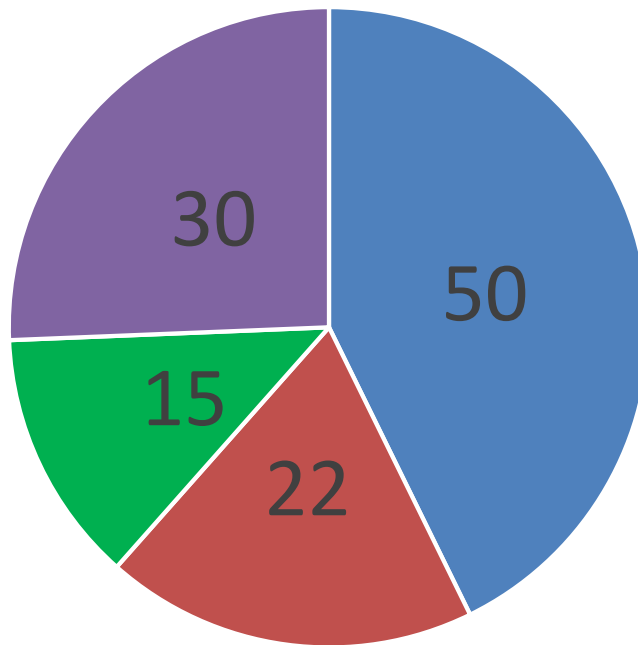
値段を公開しない理由とは…

龍谷大学スポーツサイエンスコースに所属している学生に
ドーピングに関するアンケート調査を行った結果
(実施対象者82名)



- 非常に興味がある
- かなり興味がある
- 少し興味がある
- 全く興味がない

高校時代におけるアンチ・ドーピング 情報入手手段についてのアンケート結果 (実施対象者82名：複数回答可)



■ 保健体育

■ 運動部活動

■ 競技、協会関係のセミナー

■ 新聞、テレビ、雑誌など

ドーピング禁止薬物

禁止物質には3つに分類

1. 普段の生活で禁止
2. 競技大会中だけ禁止
3. 該当競技以外の選手は使用OK

医療用医薬品

- 風邪薬
- アレルギーの薬、花粉症の薬
- 喘息治療薬
- 無月経、子宮内膜症の治療薬
- 難聴やめまいの治療薬
- 低血圧、高血圧を治療する薬
- 不整脈の薬
- インスリン

サプリメントについて

- ・サプリメントは食品に含まれるので、医薬品とは異なり含有成分が商品表示にすべて記載されているわけではありません。



サプリメント

- 筋肉増強、強壯の効能があるもの
- 減量、脂肪燃焼の効能があるもの
- 美容、若返りの効能があるもの
- 疲労、痛み軽減、抗炎症作用があるもの
には十分気を付ける事が必要

実際にドーピング検査を受けた人 にインタビュー

インタビュー内容

- ボクシングに所属
- 元柔道経験者（全国出場経験あり）
- 検査は全員が受けるわけではない
- 不明確なことが多い



検査内容

1.尿検査

2.血液検査

3.その他

競技外会検査

競技会検査



うっかりドーピングを防ぐには

1. 日常の食生活の管理
2. 風邪をひかないような体調管理
3. ドラックやサプリの正しい使用
4. 正しい知識

1. ドーピング違反に対する罰則

- 一回目の罰則の場合
- 二回目の罰則の場合

2. 病気の治療目的に使用し陽性反応が出た場合の罰則

- 一回目の罰則の場合
- 二回目の罰則の場合
- 三回目の罰則の場合

事例 I

・平成29年10月22日に開催された、平成29年度全日本大学レスリンググレコローマンスタイル選手権大会に参加した、C大学のレスリング部に所属する選手がドーピング検査の尿検体から世界アンチ・ドーピング機構が公表する2017年禁止表国際基準に定めているクレンブテロール及びメチルエフェドリンが検出された。



平成29年10月22日から同年11月21日までに獲得された競技者のすべて個人成績はいずれも失効し、かつ、この期間までに獲得したメダル、得点、及び褒賞はいずれも剥奪された。
また、平成29年11月21日より一年八カ月の資格停止処分。

事例Ⅱ

・平成29年9月に開催された第17回日本学生選手権水泳競技大会の17年禁止表国際サプリメントには記載されていなかった・・・

検体採取日から暫定的資格停止期間の開始日までに獲得されたすべての個人成績はいずれも失格し、かつ、獲得したメダル、得点、及び褒賞はいずれも剥奪された。
また、平成29年9月21日より7か月間の資格停止処分。

取り組み(1)

- ・薬剤師による、ドーピング検査の実施
- ・JOCはJADPを通じてドーピング活動を実施。
（1）競技団体のドーピング検査の実施（2）国際総合競技大会派遣選手へのドーピング検査の実施（3）ドーピング検査及び情報収集（4）その他アンチ・ドーピングに関わる活動
- ・ネットワークでは医師やスポーツファーマシストに相談窓口の設置
- ・高等学校学習指導要領にドーピングに関する記述がされた。
2009年に策定

知っていますか...

取り組み(2)

- JADAサプリメント分析認識プログラム
- 日本版NCAA (UNIVAS) 設立
- Global DR0の構築



NCAAとは

- アメリカでは全米大学体育協会(National Collegiate Athletic Association 略NCAA)が大学スポーツの連絡調整、管理、等の様々な運営支援を行っている。
- 1200余の大学が加盟している。
- 大学体育協会としては世界でも最大規模であり、一部の競技ではリーグ戦が中継されるくらい人気がある。

日本版NCAA 現状と課題

- 政府は日本版NCAAを2018年度中に設立するべく、学産官連帯協議会を設立し、検討を進めている。
- NCAAを日本にも取り入れようと検討している中、日本版NCAAが取り組む課題は、『大学スポーツの価値の向上』である。
- 現在検討されている案には、ドーピングについてはほとんど触れられていない。
- 大学スポーツとドーピングは接点がないとされているようである。

- **そこで私たちは、大学スポーツの価値を向上させることが目的であれば日本版NCAAにおいてもドーピング対策を入れなければ、大学スポーツにおけるうっかりドーピングなどが減ることはないのではないかと考えた。**
- **また大学スポーツでドーピングが発覚すれば大学の価値も下がる事につながり競技影響が出ると考えられる。**
- **学生のうちにドーピングについての知識をつけ、プロとなっても余裕を持って活躍できる選手となる事を期待している。**

日本とアメリカとの差

- 日本とアメリカでは大学スポーツで得られる収入で何億もの差がついていて、大学スポーツの盛り上がりや費用も桁違いなのが現状である。
- 日本版NCAAが開設された場合、大学スポーツをメディアはもっと取り上げ、施設での観客席の増席や選手待機室の完備し、また試合を見たいと思ってもらえるような環境があると観客・収入が増やせると考えられる。
- 注目を浴びる事で一人の選手としての自覚をもってもらうとともに、日本版NCAAは収入をドーピング検査代としてサポートするべきであると考えた。

日本版NCAA UNIVASの設立

- ・平成30年10月22日に第2回日本版NCAA設立準備委員会が開催され、大学スポーツに係る大学横断的かつ競技横断的統括組織の新法人名所が一般社団法人大学スポーツ協会：通称UNIVASに決定した。
- ・学業の充実、安全安心、専門マーケティングの3つの役割を果たすことが目的である。
- ・安全安心、競技環境向上、ブランド向上など様々なメリットが期待されると共に、学生・大学にとって大きな利点を得ることができる。

まとめ

- ・大学スポーツの問題は知識の少なさから起きている。
- ・一年に一回はすべて大学で講演会を開く、体育会系は必ず出席が決まり。➡実際にラグビーでは...
- ・専門的な知識をもったスタッフの育成。
- ・商品をスキャンすると禁止表国際基準に載っているか自動検索してくれるアプリの作成。

参考文献

・文部科学省 スポーツ産学連携＝日本版NCAA

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/005_index/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2016/05/25/1370914_05_1.pdf

・日本アンチ・ドーピング機構 <https://www.playtruejapan.org/>

・公益財団法人 日本オリンピック委員会

https://www.joc.or.jp/training/anti_doping/

・禁止表国際基準

https://www.playtruejapan.org/downloads/prohabited_list/2016_Prohibited_List_JP_revised20160108.pdf https://www.wada-ama.org/sites/default/files/resources/files/2017_prohibited_list_japanese.pdf

・薬剤師によるドーピングセミナー <https://peatix.com/event/441301>

・日本におけるアンチ・ドーピング政策の政策実態過程に関する調査研究

おわり

ご視聴ありがとうございました。